

子どもの本を読む会



私たち『子どもの本を読む会』は、児童文学を読むことが好きな者が月一回集まって開いている読書会です。直接子どもたちに読み聞かせをするのではなく、大人の読書会です。

始まったのは1973年と長く続いています。以前は学校図書室に勤めるメンバーも多数いましたが、図書室の運営方法の変化とメンバーの高齢化で、現在は直接児童・生徒に関わる者はいなくなりました。

それでも、自分たちが読むだけでなく、それをお返ししたいと思い、小中学生に薦めたい本をそれぞれが選び小冊子を5回発行しました。それを市内の学校図書室に置いていただきました。子どもたちの読書の案内になれば幸いに思います。

活動は、第二木曜日の午前中に高幡図書館の読書会室で行っています。毎月、一人の作家を取り上げてその作品を読んでいます。12月には「今年読んでよかった本」を各自持ち寄り、自分が手に取らなかった新たな本を知ることができます。

最近取り上げたのは、

ピーター・シスの絵本

甲斐信枝さんの自然をテーマにした絵本

ジェラルディン・マコックラン『世界のはての少年』他

スーザン・プライス『ゴースト・ドラム』他

児童文学に関心がある方の参加、大歓迎です。

